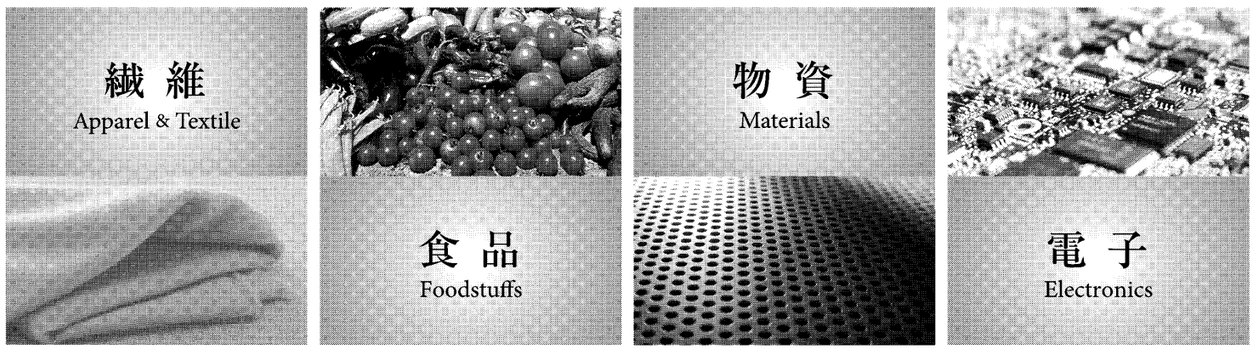
大切な人を守るため、**タイヤの空気圧チェック**をよびかけています。
空気入りタイヤを実用化したダンロップの責任だから。
0120-39-2788　https://tyre.dunlop.co.jp/　ダンロップ　検索

DUNLOP

SHINYEI

人々の暮らしを支える分野で、ものづくりを追求する神栄グループ



豊かな社会へのパートナー 神栄グループ
SHINYEI 神栄株式会社
〒651-0178 兵庫県神戸市中央区京町77番地の1
TEL.078-392-6800　FAX.078-332-0714　http://www.shinyei.co.jp

新時代を読む！ 兵庫・神戸特集

主要各社の製品&技術〈順不同〉

バンドー化学

バンドー化学は1906年、神戸で創業した。産業用ベルトメーカーのパイオニアとして高品質な製品を供給し、繊維や重工業、自動車などのさまざまな産業の発展に大きく貢献してきている。高い技術力を活用し、独自開発した平ベルト駆動システム「HFDシステム」は、消費電力7％以上の削減が可能な省エネ製品だ。その優れた省エネ性能が高く評価され、2018年度、同社として2度目となる「省エネ大賞」を受賞した。モーター容量2・2キロワット未満に対応する小型、同2・2キロワット―22キロワットの中型、同30キロワット―75キロワットの大型に加え、使用環境が厳しいクーリングタワー用など、新製品を相次いで開発。製品ラインアップを充実し、省エネ製品のさらなる普及に取り組む。

みなと銀行

みなと銀行の2019年3月期決算は預金・貸出金残高がいずれも過去最高となった。預金は前期比2・3％増の3兆3140億円。貸出金は同6・1％増の2兆6821億円。うち中小企業向け貸出金は同5・8％増となった。この結果、18年度下半期の貸出金利息は上半期に比べ増加、11年ぶりの反転を実現した。貸出金増加に加え、事業性評価融資の推進や決算書に依存せず迅速な対応が可能な融資商品の展開などにより、低金利をはね返した。また事業承継・M&Aなどのコンサルティングを推進した結果、法人関連手数料が過去最高を更新した。関西みらいフィナンシャルグループの一員として統合メリットを追求しながらも、兵庫県の県民銀行としての役割を果たす。

三ツ星ベルト

工業用ベルト専業メーカーの三ツ星ベルトは〝環境の変化にぶれない強い会社〟をテーマに競争力を強める。2018年度の経常利益は過去最高を更新。海外販売代理店との協力体制の構築など、アジア圏を中心とした成長市場での販売活動を強化するとともに、生産体制の再構築に取り組んできた。

19年度は産業用や自動車用など既存の主力事業の拡販に努めるほか、海外拠点や試験研究設備を中心に約57億円をかけた設備投資を予定。柔軟な生産体制の確立と販売体制を強化する方針だ。19年には創業100周年を迎える。今後も業界のリーディングカンパニーとして高機能、高精密、高品質な製品の提供を追求しながら広く産業に貢献していく。

ノーリツ

ノーリツは3月、音声による指示で浴槽へのお湯はりや温水暖房の運転、浴槽の自動洗浄ができるシステムを発売した。アマゾンによる音声人工知能（AI）「アレクサ」搭載のデバイスを通じ、音声操作できる。IoT（モノのインターネット）を活用し、共働き世帯向けなどの負担軽減につなげる。これまで、無線LANに対応した給湯器リモコンを展開してきた。2018年9月には業界で初めて入浴者の〝見まもり〟機能を給湯器に搭載。スマートフォンから入浴者の見守りや、外出先からのお湯はり、温水暖房の操作を可能にした。

今回、環境・省エネルギーと快適性を実現する給湯・暖房システム向けに、無線LAN対応のリモコンも発売した。

阪技

阪技は、発電プラントやタービン計画・設計、システム開発などを手がける。企画・開発から量産支援、品質管理までのワンストップ生産が強み。システム開発では、ITを用いたデータ管理や分析などを提案。顧客の製品やプロジェクトに合わせて業務効率の改善を支援している。

今後はIoT（モノのインターネット）や人工知能（AI）を活用した生産管理を提案する。ITを使った工程管理システムの開発ノウハウを生かす。生産技術とITの融合により、既存のモノづくりを未来型のモノづくりへと展開する方針だ。

まずは今夏までに若手社員を中心にプロジェクトチームを立ち上げる。社内でIoTやAIを用いて業務効率を上げるシステムを開発し、運用の効果を検証する。

川崎重工業

川崎重工業は、潜水艦技術や産業用ロボット技術などを融合し、海中設備を保守・点検する自立型無人潜水機（AUV）を開発している。

海中での充電や、収集した検査データの母船への転送などにより、海中作業を長時間化できる。またロボットアーム先端の検査ユニットにより、海底パイプラインを自律的に認識・追跡し、目標物を至近距離から検知し続ける。

2020年度には海底パイプライン検査用をはじめとしたAUVおよび関連機器の商用化を目指している。市場投入に向け、19年2月、英国スコットランドにAUVの製造・販売・アフターサービスを担う現地法人を設立。北海の原油やガス関連ビジネスでネットワークを構築する。

富士インダストリーズ

富士インダストリーズは航空機の機体やエンジンに必要な部品・材料や製造設備などを輸入販売する専門商社。モノづくりの知識や世界の経済情勢など情報武装した人材を育成、先を読む力を強みに一層の成長を目指す。

「組織と人との相乗効果」を重視、組織の方向性を定め、路線に見合った人材を育成、登用してきた。為替変動など海外との取引で予想されるリスクをヘッジするため、部署を越えた情報共有を活発に行い、若手にも海外出張の機会を豊富に与えるなど、世界にアンテナを張る。

技術面でも、大手メーカー出身のシニア技術者が技術・営業顧問として10人以上在籍し、経験に裏打ちされたモノづくりの知識を若手に還元している。